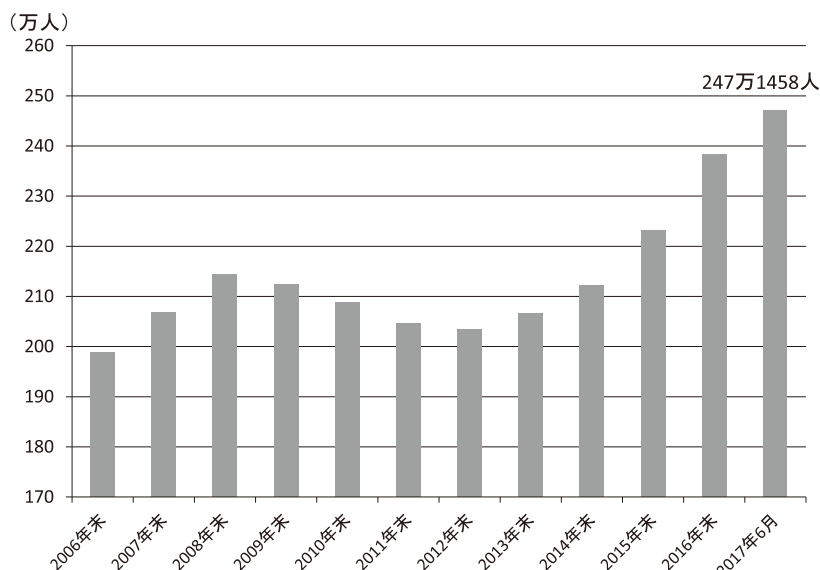


在留外国人数の推移



法務省の統計によると、在留外国人数（中長期在留者数＋特別永住者数）は年々増加傾向にある。中国、韓国、フィリピン、ベトナム、ブラジル、ネパール、米国、タイ等の上位10カ国のうち、特にベトナム、ネパールからの増加が著しく、2016年末の前年比でそれぞれ36.1%、23.2%の増加となっている。長期の在留者のみならず、外国人旅行者の増加も注目されている昨今、医療通訳等、医療体制の整備が望まれる。

法務省「在留外国人数について」（平成28年末現在、平成29年6月末現在）より作図